



GRIP Kerala News Letter

No.24 / Jp. text with Eng. Translation / October, 31, 2017

GRIPケララ社の会員みなさん Greeting for GRIP Kerala Members from Koichi Shimaoka

世界で地域よりよきことをなすNPO理事長 しまおか こういち

いかがお過ごしでしょうか？ 日本はすっかり秋めいてきたことでしょう。さぞかし果物、キノコ、サンマなどがおいしいのではないのでしょうか？ 食と酒が進みますね。うらやましいです。

のびのびになりましたが、第11回世界の地域から企画ケララ社通常総会のご報告をさせていただきます。まず、新しいメンバーが3人入会されました。日本人では吉田美香さん、タイ人ではオウとコオウ母子です。ぱちぱちぱち。

ぼくは最近、GRIPケララ社を「世界で地域からよいことをなす」ケララ・バージョンと説明しております。そのXバージョン、Yバージョン、Zバージョンがあつていいと思います。たまたまぼくが住まいをなしているタイで、タイ・バージョンがあつていいわけです。



大切なことは、GRIPケララ社の過去の輝かしい実績とその精神から学びそれを正しく受け継いで、それぞれの「地域からよいことをなす」ことだと思います。2014年までは、東京・横浜本社がGRIPケララ社を引っ張ってきました。現在はタイ支社がまったく新しい方法（チャリティ・スクール、チャリティ・ビジネス＝タイ人はチャリティが大好き）でGRIPケララ社を引っ張っています。

では東京・横浜本社がなくていいか？ というところではありません。がんばってGRIPケララ社を維持してきた成果が、タイで花開こうとしているのですから。もしGRIPケララ社が潰れていたら、今日がなかったのですから。同時に、なんと云うか、東京・横浜本社はタイの活動を後援するというのか、大人の支援をしてくれています。固有名詞がでますので、差し控えますが、東京だけでなく、全国にまたがる地道な活動です。

どうか、これからも末永く、色んなバージョンを展開して行こうではありませんか。タイ・モデルに学んで、東京モデルが新たに始まったりして、などというのはいかがでしょう？

『ご報告』

非営利特定活動法人 世界の地域から企画ケララ社 第11回通常総会決定事項

The 11th NPO GRIP Kerala Regular General Meeting Report

2017年7月9日午後1時より、コワーキングハウス CHOITO(東京都東村山市本町3丁目1-23)において、非営利特定活動法人 世界の地域から企画ケララ社(以下本法人)の第11回通常総会が開催されました。

まず議長に選任された島岡光一より、本総会の定足数について、総会員数42名に対して、委任状16名および総会参加者8名の計24名をもって、本法人の約款にて規定する総会成立条件3分の1を超えるため本総会が成立することが説明され、続いて以下の各議案について議長よりの説明ならびに参加者による質疑応答が行われ、すべての議案について賛成多数により承認されました。

1号議案/the draft No.1

NPO法人世界の地域から企画ケララ社 第10期事業報告

Report of The 10th NPO Global Regionalist Initiative Projects Co. Kerala

New member:

吉田美香さん Au Eiiさん Ko Au Eiiさん Activity H-N School H~N語学学校

Sayuri, 1st student needed to hold for learning Japanese for 1 year due to getting the exchange student, she will go to fly to Netherland in August 2017, live there for 1 year and will come back to learn Japanese again after one year later.

Sho Chan is promoted to 2nd year at APU, Beppu. He can do very well.

We have gotten a new student, Kawhom, she is 7 years 6 months old.



最年少学生カオホーム
Youngest student Kawhom.

Every Wednesday and Thursday will come to learn English in the evening.

Fai has to drop for learning English and Japanese due to enter Table Tennis National Tour in foreign countries. She can do very well and pass to be ASEAN

卓球で世界に羽ばたく少女ファイとその母親。シンガポールに向かうところ。本校日本語コースの学生。間もなく日本に卓球留学。平野みうや伊藤美誠と練習するのも夢ではない。

Our Japanese class student Fai and her mother. They are on the way to singapore. She will be study abroad to Japan with table tennis soon.



7歳から52歳まで、小学生から大学院マスターまでの日本語クラス
Our Japanese class has students from 7 to 52 years old, from elementary school kids to master of graduate school.

sport player. She will hurry up to come back for learning Japanese because of training Table Tennis with Japanese coach by the Thai government support, and will fly to Japan soon.

We have started to teach special class of English and Japanese on Sunday, our students have 10 persons whose age range is from 7 years old to 52 years old. The first day was on 4th June 2017. The class will be in total 3 years. If some of our students can be passed to get the scholarship from Japan university, we will be happiest!!

Home no. 99/60 was renovated 60号の家の改修

99/60 is used to serve some guests and student all, we provided two folder tables for the students. Former class room is renovated to be guest room in order to serve all parents. We have one corner of coffee, tea, water and snack food. One TV and row sofa are set for the guests. All documents of English and Japanese subjects are printed out for FREE printing from Noi San and Hia San. Sometimes all parents will buy some cakes, snacks, pizza for our



改装なった新教室 Renovated new class room.

students to let them enjoy at noon.

At a corner of the classroom, we newly installed a TV set.

Open of the Manager Room at Home no. 99/51 51号の家のマネージャールーム開設

We bought computer and Smart TV set (3 in 1) for working include computer desk. New model of computer let us work very well.

Study of Kerala

We searched for some experts of the education state of Kerala and a person offered us some support to

study it.

Guests

Some of our Thai and Japanese guests will come early to support us for printing before class time.

2号議案／the Draft No.2

平成28年(2016年)度決算報告と監査報告 the Accounting Statements of 2016 fiscal year (from 1st April 2016 to 31st March 2017) and Auditing Issue.

概要

第10期終了時点の現金資産残高が353,733円であること。会費収入、寄付収入および利子収入の合計が85,002円。支出は第10回総会資料作成・送付および雑費の合計7,898円であることなどが議長より報告された。

なお、タイにおける事業に関する収支については本部収支には関係が無いことから説明が省略された。

決算報告について、監査役北山昌によって適正に処理されていることが報告された。

3号議案／the Draft No.3

役員・監事の選任案 Selection of New Directors

金子行宏理事の退任を除き、すべての役員・監事が留任となること。金子行宏理事の後任として園山靖輔を選任したいことが報告された。

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 NPO Global Regionalist Initiative Projects Kerala Co.			
役 名 Title	氏 名 Name	住所又は居所 Residence	前事業年度中の就任期間 term	報酬を受けた期間 Paid term	備 考
理事長 MD	島岡 光一 Koichi Shimaoka		平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual
副理事長 Deputy MD	横山 文雄 Fumio Yokoyama		平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual
副理事長 Deputy MD	新保 正俊 Masatoshi Shimpō		平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual
—	上坂 裕美 Hiromi Uesaka		平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual
—	宗形 裕子 Yuko Munakata		平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual

—	園山 靖輔 Yasusuke Sonoyama		—	無 non	新任 new
Deputy MD	Nannapas Chaweepojka m-jorn	Bangkok 10160 Thailand	平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual
—	Pitchapa Eaimsum-ang	Bangkok 10160 Thailand	平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual
監事 auditor	北山 昌 Sho Kitayama		平成28年6月10日～平成29年3月31日	無 non	残留 residual

4号議案／the draft No.4

主たる事務所の移転

Movement of the head office

定款第2条の2に記載の主たる事務所を神奈川県横浜市磯子区中原4丁目22番29号から東京都東村山市本町3丁目21番12号に移す。従たる事務所を東京都東村山市栄町3丁目2番2号メゾン久米川103に置く。

その家賃とインテリジェンスを確保するために相当額の収入を得なければならない。そのための種々の事業を計画している。

—タイにおける語学学校生徒の新会員への勧誘

All students can be our GRIP Kerala member in near future.

—本部事業としてのケララスタディツアーの再開

We ask people to donate for visit and study on the education state of Kerala.

ケララの教育事業視察等を目的としたツアーの開催。

5号議案／the Draft No.5

平成29(2017)年度事業計画(案)

the Schedule for 2017 fiscal year (from 1st April to 31st March)

—タイにおける料理教室その他の開催

Someday after the class, we wish to open Japanese cooking class, maybe Japanese curry, Yuki Nabe, Oden and etc.

タイにおける活動の拠点に家を一軒借りているため、

6号議案／the Draft No.6

平成29(2017)年度予算(案)

the Budget for 2017 fiscal year

従来の会費および寄付金収入の内容について、ケララスタディツアーの実施を目的としたクラウドファンディング等による募金収入を10万円程度見込む。

以上をもって本法人の第11回通常総会は午後4時に終了した。



(上)総会会場入り口の案内
(左)総会風景

会員の声 Voice from members

第11回GRIPケララ通常総会に参加して

会員 小山内 均(埼玉県川越市在住)

NPO・GRIPケララ社の創立10周年おめでとうございます。総会には8年ぶりに参加致しました。会場のコワーキングハウスを訪ねると外国の方が英語で丁寧に出迎えて下さいました。ご無沙汰している間にケララ社を巡る環境は随分変化したことを感じました。島岡先生とは暫くぶりに再会することができました。先生が帰国していられっやるとは知らずお元気な姿に安心し懐かしさでいっぱいでした。

総会では全ての議案が承認されました。議案の中で印象に残っているのはタイGRIPケララ支社の語学学校についての報告です。GRIPケララ社タイランド支社副理事長のナンパスさんから語学学校の運営について英語で説明があり世界で活躍できる人材を育成するなどの成果を上げていることが報告されました。今後の運営についてはタイ国でも社会に貢献することを目指し学校に無償の学科を設けること。経営の財源は日本とタイの交易事業を立ち上げその収益を充てること。タイランド支社の3つの事業の拠点となる施設の家賃はクラウドファンドを新設し維持費の安定化を図るということなどが提案されました。

私としては語学学校を営利事業から切り離しチャリティスクールとして発展させることはタイの人々の共感を呼びタイ支社の事業への信頼をさらに高めると思っています。日タイ交易事業やクラウドファンドはGRIPケララ社の財政基盤を安定させる現実的な選択肢と考えています。GRIPケララ社としては画期的な提案だと思いました。

これが実現すればGRIPケララ社の国際的チャリティ事業はケララ州とタイの2地域に拡大することになります。その充実・発展はまた島岡先生が提唱する新たな「経済モデル」を実践的に生み出すことにもつながると考えています。

この夢のような構想を共有し実現に向け微力ながらお手伝いさせていただければと思っています。

第 11 回 総 会 は



GRIPケララ社の歴史の中で大きな一歩を踏み出す節目の総会となりました。そのような創立10周年を記念するにふさわしい総会に参加できたことを嬉しく思っています。また、お元気な島岡先生に8年ぶりにお会いできたこと。GRIPケララ社のお仲間と親睦を深められたことは一番の収穫でした。有難うございました。

自己紹介

会員 吉田 美香(東京都足立区在住)



皆様、はじめまして。

この度、会員となりました吉田 美香と申します。

今日は、私の活動を紹介させて頂きたいと思います。

◇執筆◇

著書に「凜女のすすめ」があります。

様々な分野で活躍をしている女性の起業家やリーダーの方々と共著です。

30代の女性の生き方をテーマに書かせて頂きました。各専門分野の著書より、そんな女性の生き方のヒントを紹介しており、私は、心と身体の方針において、農業・植物・花・日本文化について書かせ頂きました。

◇飲食◇

オーガニックカフェにて、サービスのトレーニングや空間コーディネートを担当しております。

在来種・固定種の野菜、無農薬・無化学肥料の生産など、持続可能で循環型の農業スタイルで作ったお料理やお飲物を提供すると共にそれに伴うサービス力や伝える力をアップできるようサポートさせて頂いております。

◇講師業◇

バンタングループのスクールにて、ブライダルフラワーアレンジメントの授業を担当させて頂いております。

前職、ウェディングプランナーの責任者として仕事をさせて頂いておりましたので、現場で活躍できるウェディングプランナーの育成に取り組んでいます。

また、ヨガのインストラクターとして、心と身体を癒やし自分自身を大切にする時間、そんな時間をアテンドしております。

◇農業◇

地元の分県豊後大野市大野町の畑を使用して、True Seaというブランドを立ち上げ、無農薬でトルシー（ホーリーバジル）の生産を行い、ハーブティーとして加工・販売をし、人、地域、国を繋ぐ活動を2015年4月よりスタートしています。

◇日本文化◇

古流東洋会水墨花点前の師範で、華道家として文化庁の委託事業の担当や企業様のプロモーションPVなどに出演、海外のお客様や大使館にて生け花のデモンストレーションやワークショップを担当させて頂いてお

ります。

以上が私の仕事や活動の一部ですが、活動の幅が広く、何屋ですか？何をされている方ですか？

とよく質問を頂きます。

何をやっているということも大事かもしれませんが、どういうエネルギーで、

どういう思いで、どういう志でどういう未来を描きたいか、そんなところにスポットをあてて頂けたら大変嬉しく思います。

私の持っている世界観は、100年先も1000年先も未来の子供たちにきちんと残せる平和な社会そして、元気な地球環境を守ること、そのためにどうしたら良いか？

ということを常に考え、活動や仕事に反映しています。

それを、実現するために様々な方法だったり、自身の関わりや役割や立場をかえながら

日々活動している次第ですが、皆様のご指導のもと、成長し、このGRIPへも貢献していきたいと思っておりますので、これからもどうぞご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



タイ支社マネージャーの2つの机。机の上の状態が仕事の量を表しているかどうかは不明である。

●編集後記● 東京で編集・発送実務を担当しております園山です。2014年7月のNews Letterに“助っ人理事”として登場しておりましたが、このたび“ちゃんとした理事”として就任させていただきました。編集といってもタイの島岡理事長から送られてくる原稿を流し込んでいるだけで、空いたスペースに適当な写真を入れて怪しいキャプションをつけるのが主要業務です。



タイ支社マネージャーの部屋から見る夕日。午後6時ごろ。

GRIP Kerala News Letter

No.24 2017年10月31日発行

編集者・発行者：しまおか こういち

編集・発送実務：園山靖輔

当社への連絡は下記までお願いします。

Shimaoka Koichi

99/60 & 99/51 Chollada Villa.

Bangpai-Nongpraongay Rd. Tambol

Bangrakpattana Amphur Bangbuathong

Nonthaburi 11110 Thailand

Land phone: +66-20509914 +66-25976033

e-mail: hikarukuroha@hotmail.com